

がんばる
皆さんを応援!

(有)ナカジマ コンピューターサービス

(有)ナカジマコンピューターサービスは、クラウド環境によるシステム開発と管理・メンテナンスを一貫して担当しています。創業者で社長の中島誠豊さんは、独学でプログラミングを学び、起業して三十余年。顧客は県内外に広がり、多くの業種に及びます。社員は家族のみですが、きめ細かなサービスを実現しています。中島さんに、家族経営で「平成」を生き抜いてきた会社のあり方などについて伺いました。

⑨ ゴルフ人脈のおかげ

富山商業高校を卒業し、ゴルフ場やゴルフ練習場に勤務しながらプロテストを2度も受けるも、「プロゴルファーになりたい」という夢は実現しませんでした。そこで、ゴルフを通じて知り合った会社の役員などに身の振り方を相談したら、「これからはコンピューターの時代だよ」と言われたことが起業のきっかけでした。

「高校時代、情報処理の授業で、電子計算機の勉強が本当に楽しかったことを思い出しました。ゴルフの道を断念し、独学でプログラミングの技術を習得。最初のうちはゴルフレッスンの

仕事をメインにしながら副業でコンピューターの仕事をしていました」

昭和59年ごろからプログラミングの仕事を始め、平成元年に登記、法人化したそうです。

当時は、パソコン1台が30万円から40万円の時代でした。企業がオフィスにコンピューターを少しずつ導入し始めた時期で、在庫管理や請求書を出すシステムを作ると、採用してくれました。

「ゴルフ人脈のおかげで契約を取れたのが始まりです。作ったばかりのシステムはいろんなエラーが出ましたが、仕事をくれた役員の方々は社内の人を任せ、システムの開発・管理・メンテナンスに関わる業務を信頼し



▲システム開発でさまざまな業務の効率化を図ります

て任せてくれました。このころ世話になった方たちのおかげで今があります」

らプログラムを作っていかなければなりません。また、完成したら終わりではなく、その後も何度か修正を重ねてシステムを改善し、企業を成長へ導きます」

⑨ ゲートシステムを開発中

現在、ユニホームを着用した時間や、クリーンルームへの入退室、洗浄した回数などを出入り口でチェックするためのゲートシステムを制作中だそうです。

「ウェアを管理することで、これまで見えなかったことが見えてきます。例えば、場所によって作業者の入室権限を制限することや、連続した着脱累計時間からウェアの清浄度を管理することができそうです。また、洗濯回数が分かるため、ウェアの寿命を事前に把握することなどが可能です」

ウェアの清潔な状態を保ち、生産環境の清浄度を維持することを目的にスタートしたシステムは、情報漏えいを防いだり、働き方改革を推進するなど成果をもたらす可能性があります。こういった今までにないシステムを開発するには、幅広い知識と経験、顧客の要望を引き出す力が求められます。

「システム開発というのは、その業界のことを勉強し、いろいろなことを学んだ上で相手の要望と合理性のバランスを取りなが



▲開発中のICタグを利用したゲートシステム

⑨ 出会いに助けられた

仕事のやり方は、下請けには出さない。また下請けに入ることもしません。顧客と向き合いながら、システム開発からメンテナンスまで一貫して担い続けてきました。「自分に任せたいと仕事をくれた人の思いに応えたい」という姿勢からです。

中島さんは、30年間でさまざまな人と出会い、助けられてきたことにつぎると話します。「ナカジマコンピューターサービス」を当所はこれからも応援していきます！



▲こだわりが感じられるコンクリート造りの社屋

(有)ナカジマ コンピューターサービス

○業務内容

- ・クラウド環境によるシステム開発及び保守
- ・ICタグシステムの構築及び保守
- ・インターネット関連サービス

富山市萩原80-1

☎076-464-3136

URL <http://company.ncs-j.com/>